

新たな展開

～『緑の健都 かめやま』を目指して～

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成30年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中は市政各般に深いご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。



亀山市長 櫻井 義之

さて、昨年は、本市の中長期戦略となる「第2次亀山市総合計画 グリーンプラン 2025」がスタートいたしました。目指す将来都市像として『歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都 かめやま』を掲げ、その実現に向け、全職員一丸となって取り組みを始めました。

また、これまで培ってきた文化をみつめ、将来へつなげ輝かせる視点から、3年ごとに文化に関する事業を包括的に展開する「かめやま文化年プロジェクト」を実施し、暮らしの中の文化を再発見するための様々な事業を展開した年でもありました。

一方で、新たに地域予算制度を導入するなど、共助のまちづくりへ向けて多彩な地域活動の支援に努めたほか、JR関西本線（南四日市駅～亀山駅間）において、ICカード「TOICA」利用エリアの来春からの拡大決定、大阪府泉佐野市との特産品取扱協定締結など心強いニュースもありました。

本年は、新しい図書館を含めたJR亀山駅周辺整備事業の推進や、地域包括ケアシステムの確立、新たな産業立地などに力を入れてまいりたいと考えております。

都市の拠点機能向上を目指して取り組む「JR亀山駅周辺整備事業」については、都市計画決定を行うとともに駅前広場などの整備や、民間が行う施設建築物の整備に対する支援を行ってまいります。また、駅前への移転を進めております新たな図書館については、市民ワークショップや整備推進委員会などを通じて、多くの皆様のご意見をお伺いし、今後の整備の基本方針となります「図書館整備基本計画」を策定してまいります。

一方、地域医療を支える市立医療センターについては、地域包括ケア病床の開設、院外処方への移行など、病院事業管理者を中心に経営改革に努めておりますが、本年4月からは、地域包括ケア病床を増床するとともに、訪問看護ステーションを新設し、地域包括ケアシステムの確立に努めます。

さらに、新名神高速道路の本線開通を来年に控え、本市は更なる交通拠点性の向上が見込まれております。加えて、昨年夏の食品関連企業との立地協定締結をはじめ、民間産業団地「亀山・関テクノヒルズ」においては、新たな分譲区画造成工事が進んでおります。このチャンスを生かすべく、新たに奨励内容を充実させた市産業振興制度を活用し、産業立地と雇用の創出を図り、若者の定住につなげてまいります。

この一年、『緑の健都 かめやま』の実現に向け、本市の特性を活かしたまちづくりを展開してまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、幸多く明るい年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。